



(株) 医薬経済社

103-0023
東京都中央区日本橋本町
4-8-15 ネオカワイビル
TEL 03(5204)9070
FAX 03(5204)9073発行人 藤田貴也
編集長 小島敬人<https://risfax.co.jp/>

●(C)当社の許可なく複写することを固くお断りします●

MR のコンプラ違反、AI 医師がチェック

木村情報技術 チャット GPT で「会話練習」サービス、情報提供 GL 遵守に

MR の情報提供活動が「販売情報提供活動に関するガイドライン」で厳しく規制されるなか、AI を使ってコンプライアンス違反を防ぐ取り組みがはじまっている。木村情報技術はこのほど、MR のロールプレイ研修を支援するサービス「トークエイド」の提供を開始。生成 AI のチャット GPT が「医師役」として話し相手になり、MR の会話内容を評価するというプログラムだが、厚生労働省の GL や社内規定といった「ルールを守ってアウトプットできるか」の訓練にも活用できるという。AI との会話を通じ、GL で禁止されている他社製品の誹謗中傷や科学的根拠のない説明、社内規定から外れた手順で情報提供を行っていないかなどをチェックする。

木村情報技術によると、かねて製薬業界では社員が「MR 役」と「医師役」「オブザーバー」の 3 役に分かれ、MR 役の会話内容を評価する「ロールプレイ研修」が実施されてきた。だが、製薬企業が MR 数を削減し、営業所も廃止・縮小傾向にあるなかで、対面研修を行う機会が減少。一方で MR には、スペシャリティ製品の増加により高度な知識が求められている。さらに、18 年からは厚労省の販売情報提供 GL も施行され、複雑なルールを守りながらの MR 活動が必要となっている。

こうした状況に対応するため、同社は人間に代わって AI がロールプレイ研修の相手を務めるトークエイドを開発した。製品紹介や臨床試験結果の説明、実際の処方につながるクロージングなど、研修目的と製品に応じたプログラムを作成。医師役には「国立病院勤務」「怒りっぽい」「キャンプと魚釣りが趣味」といったキャラクター付けをすることもできる。ただ、AI としての限界はあり「思いもよらない質問が来ると、期待に沿わない回答をする可能性もある」という。料金は、2 種類のプログラムを 50 人が 3 ヶ月間利用する想定で「総額 182 万円」。

MR は、こうして作成した AI 医師を相手に、実際に声を出して会話を練習。目的に応じた会話ができただか、終了後に AI が 3 段階または 5 段階評価やコメントを返す。この研修目的や評価基準に「情報提供 GL の遵守」も加えることが可能。例えば GL では、未承認薬・適応外薬（オフラベル）の情報は「通常の情報提供活動」と切り離して説明するよう決められており、社内規定でさらに細かい手順が定められているケースもある。サービスを通じてこれらのルール対応を訓練するため「着任当初のコントラクト MR」や「病院担当に異動したばかりの MR」などへの活用を見込む。

2025年 3月 17日 (月) リスファクス 第9172号